

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療問題検討会経費	事業開始年度	平成18年度	作成責任者		
担当部局	医政局	担当課室	指導課救急・周産期医療等対策室	室長 中山 鋼		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国における救急医療体制の一層の質的な充実等を図るための検討を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国における救急医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の救急医療体制の問題やあり方等について検討会を開催して、有識者を招聘し検討を行う。					
実施状況	平成21年度においては、重篤な小児患者に対する救急医療体制の確保にかかる検討会等を実施し、22年度予算に重篤な小児救急患者を受け入れる小児救命救急センターへの財政支援を計上するなどの反映を行っているところである。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	3	2	2	2	2
	執行額	3	2	2		
	執行率	100.00%	100.00%	100.00%		
	総事業費(執行ベース)	3	2	2		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	予算の執行については、全て厚生労働省で直接執行しており、全ての支出先を把握している。また、検討会の報告書等を踏まえて、補助事業の企画立案等を行っているところである。				
	見直しの余地	救急医療の現状を踏まえ、有識者に議論していただくべき内容を精査するほか、検討会開催前の議事内容の調整を綿密に行うことで、議事の円滑な運用を図る。 また、引き続き、省内会議室での開催に努め、検討会開催にかかる1回あたりの費用を節減する。 (平成21年度においてはすべて省内(他省庁含む)会議室にて開催)				
予算監視の所見率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省
2百万円



【諸謝金】

A. 救急医療対策検討会出席謝金
1百万円



【委員等旅費】

B. 救急医療対策検討会委員等旅費
1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.救急医療対策検討会出席謝金			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	救急医療対策検討会出席委員への謝金	1			
計		1	計		0
B.救急医療対策検討会委員等旅費			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	救急医療対策検討会出席委員に対する委員等旅費	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0